



MUFG通信

2017年度通期(2017年4月1日~2018年3月31日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <https://www.mufg.jp/>

証券コード : 8306



社長メッセージ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、2017年度の業績および本年4月からスタートした新中期経営計画についてご説明します。

▶ 2017年度の業績について

2017年度は、低金利環境の長期化による国内資金利益の減少を主因に、業務粗利益は前年度比1,575億円減少の3兆8,542億円となりました。営業費は、国内では抑制したものの、海外では規制対応費用や人件費等の増加もあり、前年度比278億円増加しました。この結果、業務純益は前年度比1,854億円減少の1兆2,328億円となりました。

業務純益減少のほか、構造改革に伴う一過性費用などによるマイナスもありましたが、与信関係費用の改善や持分法適用会社であるモルガン・スタンレーの利益貢献などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は632億円増加の9,896億円となり、当初目標の9,500億円を上回りました。

経営の健全性を表す自己資本比率については、2018年3月末の普通株式等Tier1比率が12.58%と、引き続き十分な水準を確保しております。

▶ 中期経営計画の策定（詳細は2～3ページをご覧ください）

世界経済は、ここ数年順調な回復を続けてきましたが、今後、各国中央銀行による金融政策の正常化への動きに伴う市場変動やクレジットサイクルの転換、さらには地政学リスクに起因する不確実性の高まりに留意が必要な状況にあります。一方、わが国は少子高齢化や人口減少などの課題を抱え、低成長と超低金利状態が常態化しつつあります。また、デジタル化の流れは我々金融業界も含めた社会や産業のあり方を大きく変えようとしています。

これらの構造変化に柔軟かつ迅速に対応し成長軌道への道筋を付けるため、MUFGグループでは、昨年5月に改革の方向性を「MUFG再創造イニシアティブ」として公表し、それらを具体化した施策を含む中期経営計画を本年度よりスタートさせました。

MUFGグループのめざす姿 ～「再創造」の先にめざす経営の姿

シンプル・スピーディー・トランスペアレントなグループ一体型の経営を通じ、全てのステークホルダーに最善の価値を提供するとともに、課題解決型ビジネスの展開により、持続的な成長を実現し、より良い社会の実現に貢献する

- ①お客さま・社会のニーズや課題と向き合い最適なソリューションを提供
- ②事業・グループのあり方を再構築し、MUFGならではの持続可能な成長モデルを構築
- ③社員一人ひとりにプロフェッショナルとしての成長を実感できる場を提供
- ④上記の結果として、株主の期待に応え、信頼関係を強化

中期経営計画では、内外における厳しい経営環境を打ち返し、持続的な成長へと回帰するための具体的な戦略として「11の構造改革の柱」を設定いたしました。いずれも、①将来に向けてのポテンシャルが大きく、②MUFGグループが持つ潜在力を十分に発揮することができ、③今後MUFGグループの基幹的なビジネスとなる、あるいはそれを支える戦略の柱です。

加えて、海外における個人・中堅中小企業領域では、新たにグローバル・コマーシャルバンキング事業本部を設置し、米国と東南アジア地域の市場成長を着実に取り込んでまいります。

▶ 株主還元の基本方針

中期経営計画策定とともに、「株主還元の基本方針」を新たに決めました。配当については、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加に努め、配当性向40%をめざします。自己株式取得は、資本効率の向上に資する株主還元策として、機動的に実施してまいります。

この方針に基づき、2017年度の期末配当を1円増配し10円とし、中間配当と合わせた年間配当は19円としました。また、2018年度の配当予想は2017年度比さらに1円増配の年間20円を予定しています。

併せて、500億円の自己株式を取得し、今回新たに取得した株式は全量消却する予定です。

私たちMUFGは、引き続き国内に軸足をしっかりと置きつつ、海外の成長を取り込みながら、事業モデルの変革を着実に進め、経営ビジョンに掲げる「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざしてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年6月
取締役 代表執行役社長 グループCEO 平野信行

中期経営計画の概要

財務目標

中期経営計画の最終年度である2020年度の目標水準とともに、中期的にめざす目標水準を設定しました。

	2017年度実績	2020年度目標	中長期目標
ROE	7.53%	7%~8%程度	9%~10%
経費率	68.0%	2017年度実績を下回る	60%程度
普通株式等Tier1比率 (規制最終化ベース*)	11.7%	11%程度	

※バーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスク・アセット増加影響を反映させた試算値

組織改編

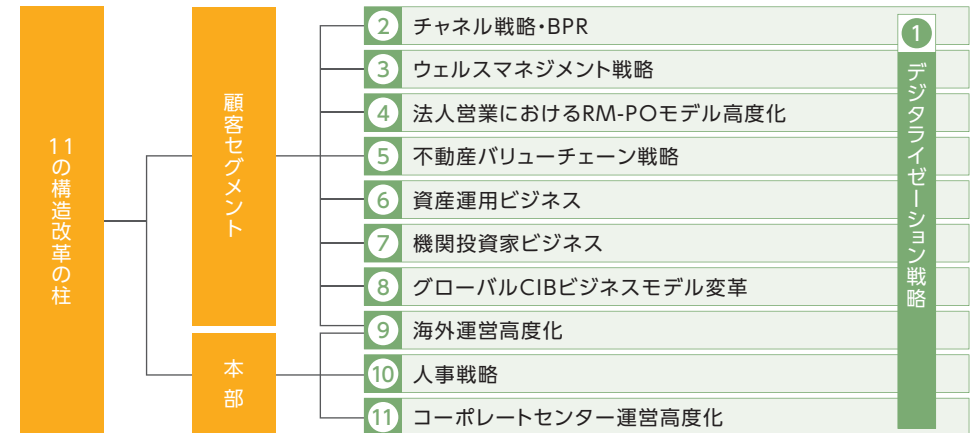
本年7月1日に組織体制を変更し、グループ一体運営を推進する体制を構築します。お客さまとの接点となる事業本部は、日系と非日系、個人・中堅中小企業と大企業にそれぞれの組織を設定し、受託財産と市場を加えた6事業本部制にします。

旧	新	
リテール事業本部	R&C 法人・リテール事業本部 Retail & Commercial Banking	日系/個人・中堅中小企業
法人事業本部	JCIB コーポレートバンキング事業本部 Japanese Corporate & Investment Banking	日系/大企業
国際事業本部	GCIB グローバルCIB事業本部 Global Corporate & Investment Banking	非日系/大企業
	GCB グローバル・コマーシャルバンキング事業本部 Global Commercial Banking	非日系/個人・中堅中小企業
受託財産事業本部	受財 受託財産事業本部 Asset Management & Investor Services	
市場事業本部	市場 市場事業本部 Global Markets	

グループ事業戦略

1 11の構造改革の柱

MUFGグループの各事業会社、事業本部、コーポレートセンターが一体で「11の構造改革の柱」を推進し、営業純益で2,500億円程度の効果発現をめざします。



2 グローバル・コマーシャルバンキング

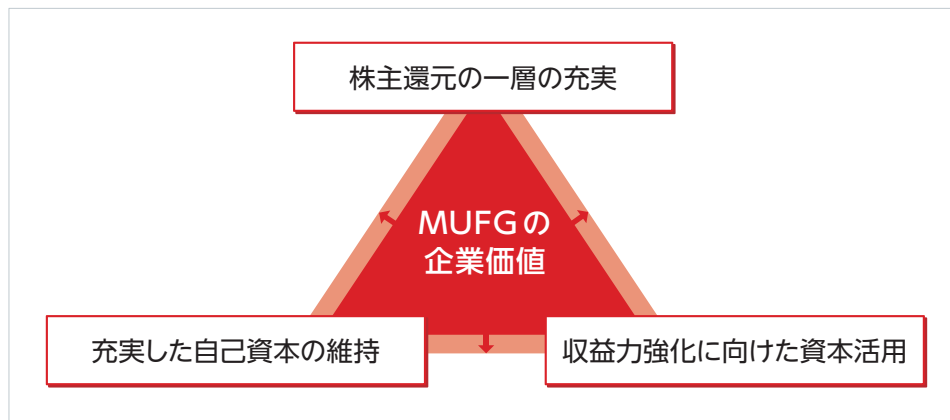
日本と米国、アジアのパートナーバンク間で各行の強み・知見を共有し、各行のバリューアップとシナジー効果の実現をめざします。



資本政策

資本政策の基本方針

資本政策は、「充実した自己資本の維持」、「収益力強化に向けた資本活用」、「株主還元の一層の充実」の3つの観点からバランスの取れた資本運営を実施します。



株主還元の基本方針

資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の一層の充実に努めます。

配当

利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、配当性向は40%をめざします。

自己株式取得

自己株式取得は、資本効率の向上に資する株主還元策として、機動的に実施します。

自己株式消却

保有する自己株式の総数の上限を、発行済株式総数の5%程度を目安とし、それを超える数の株式は、原則として消却します。

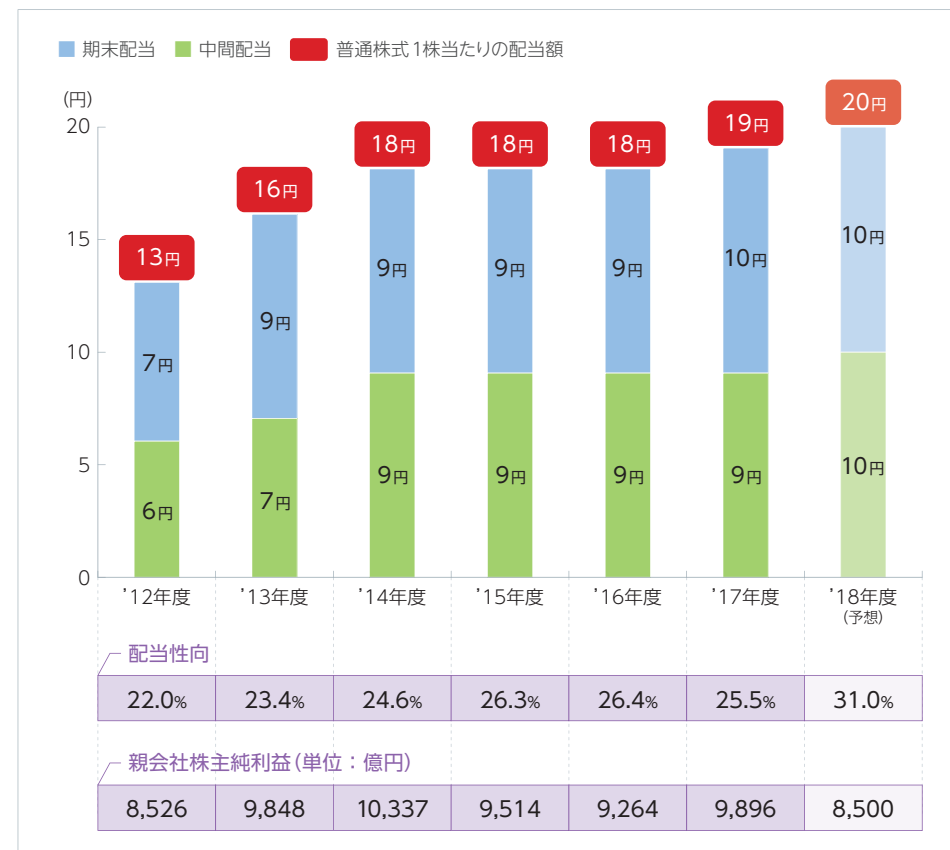
配当・自己株式取得

2017年度

2017年度の年間配当は、前期に比べ1円増配の1株当たり19円としました。また、2017年5～6月と11～12月にそれぞれ約1,000億円の自己株式を取得しました。

2018年度

2018年度の1株当たりの年間配当額は2017年度より1円増額の20円を予想しています。また、500億円の自己株式を取得し、今回取得した自己株式はすべて消却します。



ESG課題への取り組み

MUFGは、お客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することをめざし、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)経営に取り組んでいます。

優先的に取り組むべき環境・社会課題の特定

MUFGは、「社会からの期待」と「MUFGの事業領域との親和性」の両面から、MUFGとして優先的に取り組むべき環境・社会課題を特定しました。



環境・社会ポリシーの整備

MUFGは、ESGへのさらなる取り組み強化の観点から、事業を通じた環境・社会課題解決への貢献の基本方針として「MUFG環境方針」、「MUFG人権方針」を制定しました。また、これらの基本方針のもとで、環境・社会配慮を実現するための枠組みとして、「MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク」を制定し、本年7月1日より適用を開始します。

▶ 「MUFG環境方針」、「MUFG人権方針」の詳細は以下URLをご参照ください。

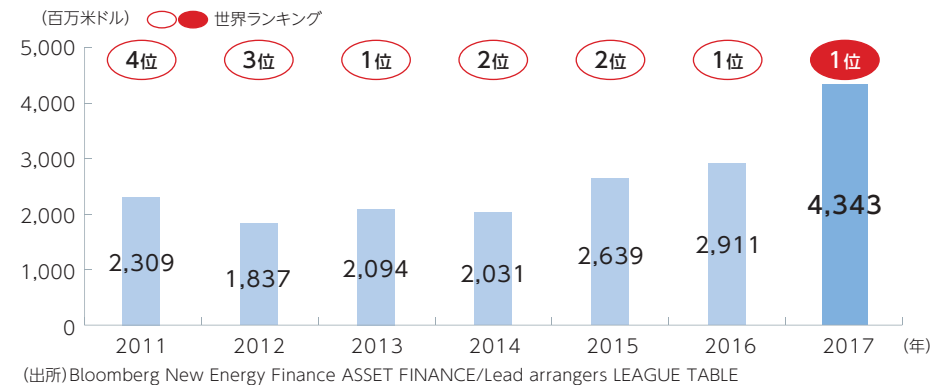
https://www.mufg.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20180515-005.pdf

再生可能エネルギーの推進と普及

MUFGは太陽光・水力・風力・地熱発電などのクリーンエネルギー事業に関連したプロジェクトファイナンスのアレンジや融資を通じて、世界の再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。2017年には、クリーンエネルギー事業に関連したプロジェクトファイナンスのリーグテーブルにおいて、民間のグローバル金融部門で2年連続世界ランキング1位となりました。



再生可能エネルギー部門におけるファイナンスアレンジの実績推移



観光立国ファンドによる地域創生

三菱UFJ銀行は積水ハウス、日本航空、三菱地所、大和不動産鑑定、三菱総合研究所、明治安田生命保険、三菱UFJリースとの共同出資により、投資ファンド運営会社「地域創生ソリューション」を設立しました。地域創生ソリューションは民間では本邦初かつ最大規模の観光立国ファンド「ALL-JAPAN観光立国ファンド投資事業有限責任組合」を組成しました。MUFGおよび親密地域金融機関のネットワークを活用し、地域が抱えている課題の解決に取り組み、観光の活性化を通じて日本の成長戦略や地域創生に貢献していきます。

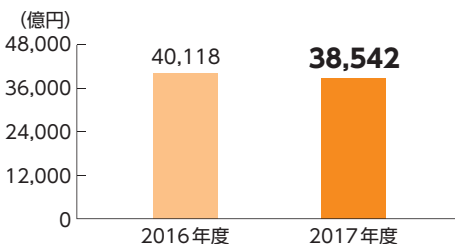


2017年度決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、通期目標の9,500億円を上回る9,896億円
- 貸出金は前年度末比0.9兆円減少、預金は6.5兆円の増加
- 普通株式等Tier1比率は12.58%と十分な水準を確保

連結業務粗利益



前年度比1,575億円減少しました。海外の預貸金収益は堅調に推移しましたが、低金利環境の継続による国内預貸金収益や債券利息の減少に加え、債券関係損益の減少もあり、減少しました。

与信関係費用総額*

貸倒引当金繰入額の減少を主に、前年度比1,092億円減少しました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する当期純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

(単位: 億円)

2016年度	2017年度
40,118	38,542
25,935	26,214
14,182	12,328
△1,553	△461
13,607	14,624
9,264	9,896

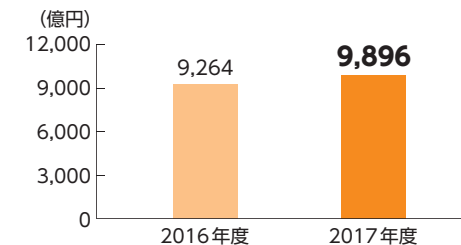
(単位: 億円)

2016年度末	2017年度末
3,032,974	3,069,374
1,090,052	1,080,909
594,388	592,661
251,115	235,513
2,866,390	2,896,423
1,707,302	1,773,123
166,583	172,950

営業費

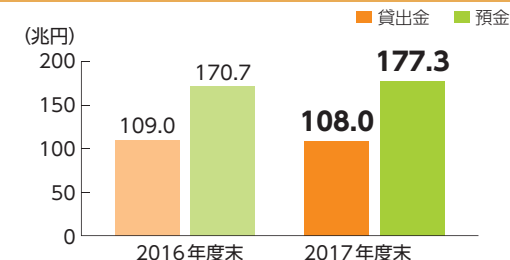
国内は抑制的な経費運用に努めましたが、海外経費の増加により、前年度比278億円増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益



前年度比632億円増加し、9,896億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人貸出は増加しましたが、政府等向け貸出や住宅ローンの減少を主に前年度末比0.9兆円減少しました。預金残高は個人預金および海外預金の増加を主に、前年度末比6.5兆円増加しました。

自己資本比率(パーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は12.58%と、十分な水準を維持しています。

* 普通株式等Tier1比率 = 中核的な自己資本(資本金・剰余金) ÷ リスク・アセット

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。


MUFGからのお知らせ

MUFGでは、下記のとおり株主さま向けのセミナーを開催いたします。
各セミナーごとにお申込み方法、条件が異なりますので、ご注意ください。

① 経済セミナー・為替相場セミナー開催概要

募集対象者：2018年3月末時点で当社株式を1,000株以上お持ちの株主さま(ご同伴は1名さままで可)
参加費：無料

① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	2018年9月21日(金)	各回380名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	2018年10月15日(月)	各回200名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区	2018年10月22日(月)	各回150名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社または外部の会議室		
内容	テーマ：「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事 五十嵐 敬喜 氏		 五十嵐 敬喜 氏

② 為替相場セミナー&ディーリングルーム見学会(東京)

開催日 募集人数	2018年10月30日(火)	80名	時間	13:30 ~ 16:00頃
開催場所	三菱UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム(東京都千代田区)			
内容	第一部 ▶ テーマ：「外国為替 ~円相場の現状と見通し~」(仮題) 講師：株式会社三菱UFJ銀行グローバルマーケットリサーチ チーフアナリスト 内田 稔 氏 第二部 ▶ ディーリングルーム見学会 (ディーラーが取引を行う現場をご覧ください)			

応募方法：同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要な事項をご記入のうえ、ご投函ください。

締め切り 2018年7月17日(火)消印有効

◎ご注意◎

- ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つをお選びください)。複数選択、または選択がない場合には無効となります。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には無効となります。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
応募者多数の場合は、抽選のうえ、セミナー開催の2週間から1か月前をめどに当選結果をお送りいたします。

② 動画配信

経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

▶ リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(<https://www.mufg.jp/investors/movie/>)

▶ ユーザー名

mufg

▶ パスワード

201809

▶ 配信期間

東京会場終了後、1ヵ月間

③ WEB限定インターネットライブセミナー開催概要

募集対象者：2018年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま

参加費：無料

開催日 2018年8月21日(火)

時間 19:00 ~ 20:15

内容 テーマ：渡辺真理さんと聞く「相続のいろは」(仮題)

知っておきたい相続の基礎知識について、アナウンサーの渡辺真理さんを司会に迎え、応募の際に株主さまから募集した質問に三菱UFJ信託銀行のトラストファイナンシャルプランナーが事例を交えて解説します。



渡辺 真理 氏

- 応募方法：1. 下記URLにアクセスいただき、お名前・株主番号・ご住所・Eメールアドレスをご入力
のうえ、お申込みください。
2. 開催日の約3週間前までに、ご入力いただいたEメールアドレスに視聴方法等をお送り
いたします。

- ・ 申込専用URL：<https://www.mufg.jp/webseminar/index.html>
- ・ 締め切り：2018年7月20日(金)



- *カメラ付き携帯電話またはスマートフォンのアプリ等で、右のQRコードを読み取る方法でもアクセスできます。
◎**ご注意**：やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629
(通話料無料)

代表電話

03-3240-8111
(通話料有料)

受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00~12:00、13:00~17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・執行役 (2018年7月1日現在)

取締役	川上 博	黒田 忠司	執行役	代表執行役 会長 園 潔	執行役専務 安田 正道
	川本 裕子	岡本 純一		代表執行役 副会長 池谷 幹男	執行役専務 藪田 健二
	松山 遙	園 潔		代表執行役 副会長 三毛 兼承	執行役専務 堀 直樹
	Toby S. Myerson トビー・S・マイヤソン	池谷 幹男		代表執行役 副会長 荒木 三郎	執行役専務 亀澤 宏規
	奥田 務	三毛 兼承		代表執行役 社長 平野 信行	執行役専務 成瀬 浩史
	新貝 康司	荒木 三郎		執行役専務 徳成 旨亮	執行役専務 宮地 正人
	Tarisa Watanagase タリサ・ワタナガセ	平野 信行		執行役専務 吉川 英一	執行役専務 吉藤 茂
	山手 章	浅井 滋		執行役専務 横川 直	執行役専務 林 尚見
		濱本 晃		執行役専務 濱本 晃	執行役専務 濱本 晃

* 取締役のうち、川上 博、川本 裕子、松山 遙、トビー・S・マイヤソン、奥田 務、新貝 康司、タリサ・ワタナガセ、山手 章の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日	
定時株主総会	6月下旬	
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日	
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: https://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	お問い合わせ先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

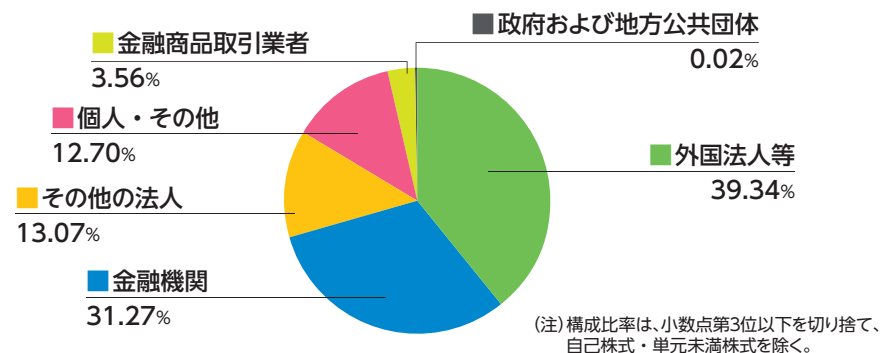
株式に関するお手続き

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株式の状況 (普通株式) (2018年3月31日現在)

株式の状況	発行済株式の総数	13,900,028,020 株
	株主数	685,265 名

所有者別分布状況



大株主

順位	株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	705,689,100	5.34
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	630,254,300	4.77
3	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	275,802,635	2.09
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	263,842,100	1.99
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	223,807,890	1.69
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	215,930,100	1.63
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	196,032,300	1.48
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	193,550,600	1.46
9	THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	179,260,880	1.35
10	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.32

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 普通株式の持株比率は、自己株式706,588,098株を除いて算出しております。

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
-Be the world's most trusted financial group-

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で

お客様視点を常に大切に、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の力で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

三菱東京UFJ銀行は2018年4月1日付で三菱UFJ銀行へ商号変更しました。
本誌では2018年3月31日以前の事項についても、新商号で記載しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL : <https://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター

電話:0120-232-711(通話料無料)

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

2018年6月発行

本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

